

令和2年度 予算と主要事業の概要

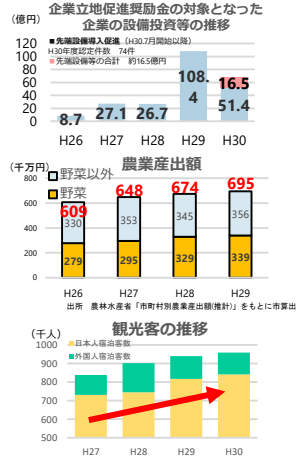
和歌山市
令和2年2月12日



第1期総合戦略（5年間）の主な成果

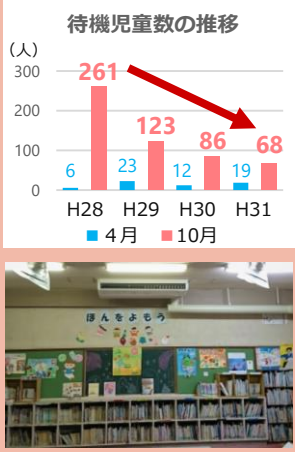
基本目標Ⅰ 安定した雇用を創出する

- ★ 企業立地促進奨励金制度により、**市内企業の事業拡大、市外企業の誘致**
- ★ 京奈和道や和歌山南SIC完成により、**交通の利便性向上、物流・企業誘致の促進**
- ★ 生産性向上に資する支援により、**農業産出額の増加**
- ★ 国内外への観光誘客の推進により、**宿泊者数が過去最高を更新**
- ★ 専門性の高い大学の誘致により、**若者の地元定着率向上へ**



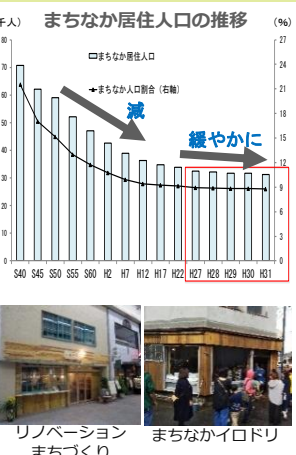
基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ★ 待機児童ゼロを目指した環境整備により、**年度途中の待機児童数が大幅に減少**
- ★ 快適で安全安心な教育環境の整備により、**普通教室への空調設置が完了**
- ★ 子供の健やかな育ちの環境づくりにより、**女性の転出が抑制されている傾向**
子育て世代の女性の有業率が増加
- ★ 子ども家庭総合支援拠点の設置により、**寄り添い型の継続的支援の充実**
- ★ コミュニティ・スクールの全校導入により、**学校と地域の連携・協働体制が確立**



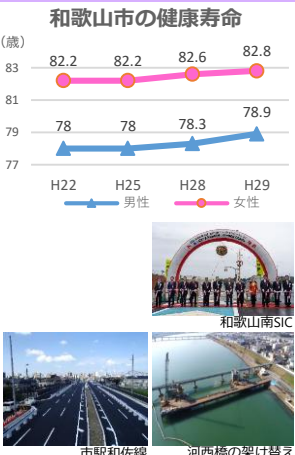
基本目標Ⅱ 和歌山市への新しいひとの流れをつくる

- ★ まちなか遊休不動産の活用や大学誘致により、**まちなかの歩行者が増加傾向**
賑わいの創出
若い世代を中心とした転入超過
まちなかエリアの公示地価の上昇
- ★ 加太地域での産官学民連携により、**効果的なまちづくり活動を実施**
- ★ 和歌の浦地域が日本遺産に認定される等、**歴史的風致を活用したまちづくりを推進**



基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

- ★ 市街地再開発等により、**4年連続で商業地の地価が上昇**
高層マンション等の民間投資を促進
- ★ 防災行政無線の再整備により、**可聴範囲が大幅に拡大**
- ★ 市民の主体的な健康づくりの推進により、**健康寿命や特定健診受診率が上昇**
- ★ 福祉総合相談窓口の開設により、**地域の複合的な生活課題の解決へ**
- ★ 国、県等関係機関との連携により、**道路網の整備を促進**



まちの発展と変化の確かな兆しを捉え、これまでの取組の成果を前進・加速

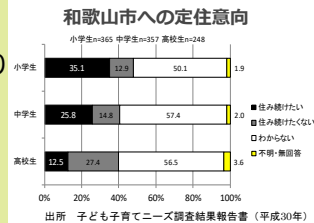
第1期総合戦略（5年間）で“見えてきた課題”

基本目標Ⅰ 安定した雇用を創出する

- ▼ **サービス産業の労働生産性**は全国平均を下回っている
- ▼ 農業者・水産業者の**高齢化や後継者不足**、都市化に伴う農地の減少、耕作放棄地の増加、漁場環境の変化による**水産物販売額の減少**
- ▼ **外国人宿泊客数が2年連続前年比減**で宿泊客数全体の伸び率が鈍化
- ▼ 在留外国人人口の増加（技能実習、留学等）に伴う対応
- ▼ 若年層の市外転出による事業所の**人材の高齢化**等による人材不足
- ▼ **労働市場のミスマッチ**（専門的・技術的職業の人材不足）

基本目標Ⅱ 和歌山市への新しいひとの流れをつくる

- ▼ **まちなか居住人口割合が減少**を続けており、高齢化率も市全体より高まっている
- ▼ 小中高生の**定住意向が減少**し、高校生では、「住み続けたくない」が「住み続けたい」を大幅に上回っている
- ▼ 20～39歳の各年代で転出超過となっており長期的に**まちづくりの基盤となる世代人口が減少**
- ▼ 自治会をはじめとした**地域コミュニティの弱体化**

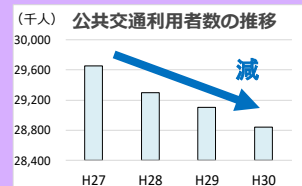


基本目標Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ▼ 共働きやひとり親家庭の増加等家族形態の変化により、**家族と地域のつながりが希薄化**
- ▼ 子育て世代の女性の有業率が増加傾向にある一方、**保育人材の不足**、日常的に祖父母等の親族に子供をみてもらえる割合の減少、**三世代で子供を育てる家族構成が減少**
- ▼ **全国学力・学習状況調査**の結果、**全国的に全国平均より低く**、基礎的・基本的な学力の習得や知識・技能を活用する力に課題がある
- ▼ スマートフォン等の普及による**インターネット上のいじめが増加**傾向にあり、周囲の大人が**いじめを発見しにくい**状況

基本目標Ⅳ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

- ▼ **中心市街地の人口減少**が著しく、**空洞化が進行**する恐れがあるため、都市経営の持続性の観点から対応が必要
- ▼ **鉄道・バス利用者数の減少**による公共交通機関の**サービス低下・衰退**
- ▼ 多発する**集中豪雨に対する浸水対策**、道路、河川、港湾、漁港等**社会基盤整備の強靱化**
- ▼ **健康づくり**に取り組んでいる市民の割合は54%で、がん検診（大腸、子宮）の受診率低下、特定健診受診率が全国平均以下
- ▼ **ひとり暮らし高齢者の増加**等により、支援を必要とする人が増加している一方、**住民相互の関係性が希薄化**している



“見えてきた課題”の克服に向け、地方創生の**新たなステージ**で取組を**重点推進**

第2期総合戦略のスタートへ

第2期和歌山市人口ビジョン

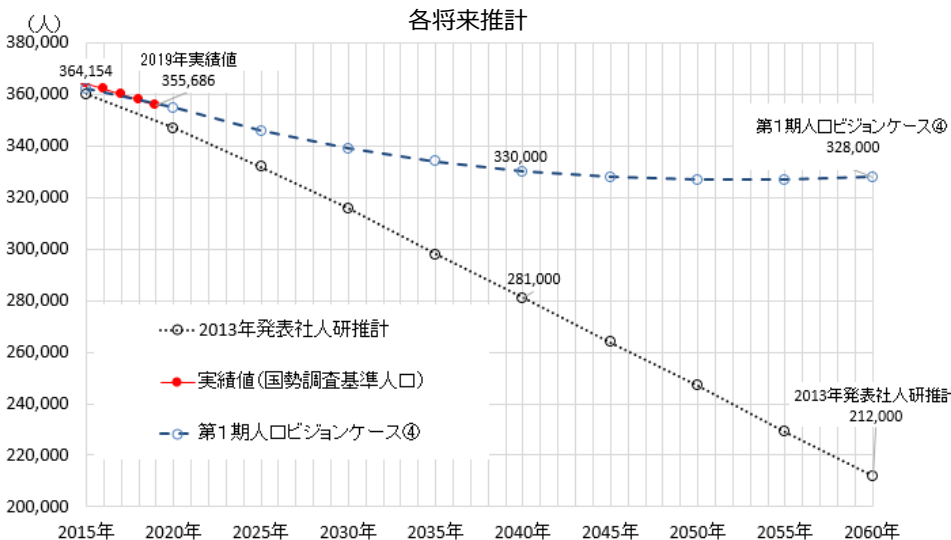
次の5か年に向けた施策の方向性を示す「第2期総合戦略」策定にあたり、その基礎資料となる「第2期和歌山市人口ビジョン」を策定

第2期総合戦略

第1期での取組による成果の向上と見えてきた課題を克服するとともに、芽を出し始めた「まち」の成長に加え、第2期では「ひと」や「しごと」への投資を重点化し、4つの基本目標に沿って施策を推進します。

本市人口の展望

○県都としての都市機能を維持するために、2040年において人口30万人を下回らないことが必要



○和歌山県の人口推計に占める本市の割合が増加することから、中枢中核都市としての機能強化が必要

37.8% (2015年) ➡ 40.9% (2040年) ➡ 46.7% (2060年)

1 安定した雇用を生み出す 産業が元気なまち

- ▶ 地域産業の活性化
- ▶ 観光の持続的な発展

2 住みたいと選ばれる 魅力があふれるまち

- ▶ 歩きたくなるまちなか創生
- ▶ 個性を生かし愛着を育む地域づくり

3 子供たちがいきいきと育つまち

- ▶ 子供を産み育てやすい環境づくり
- ▶ 夢に向かって未来を切り拓ける教育

4 誰もが安心して住み続けられる 持続可能なまち

- ▶ 市民の安心・安全の確保
- ▶ 豊かで暮らしやすい地域づくり
- ▶ 誰もが元気に生涯活躍できるまち

持続可能で、未来に希望の持てるまちの実現

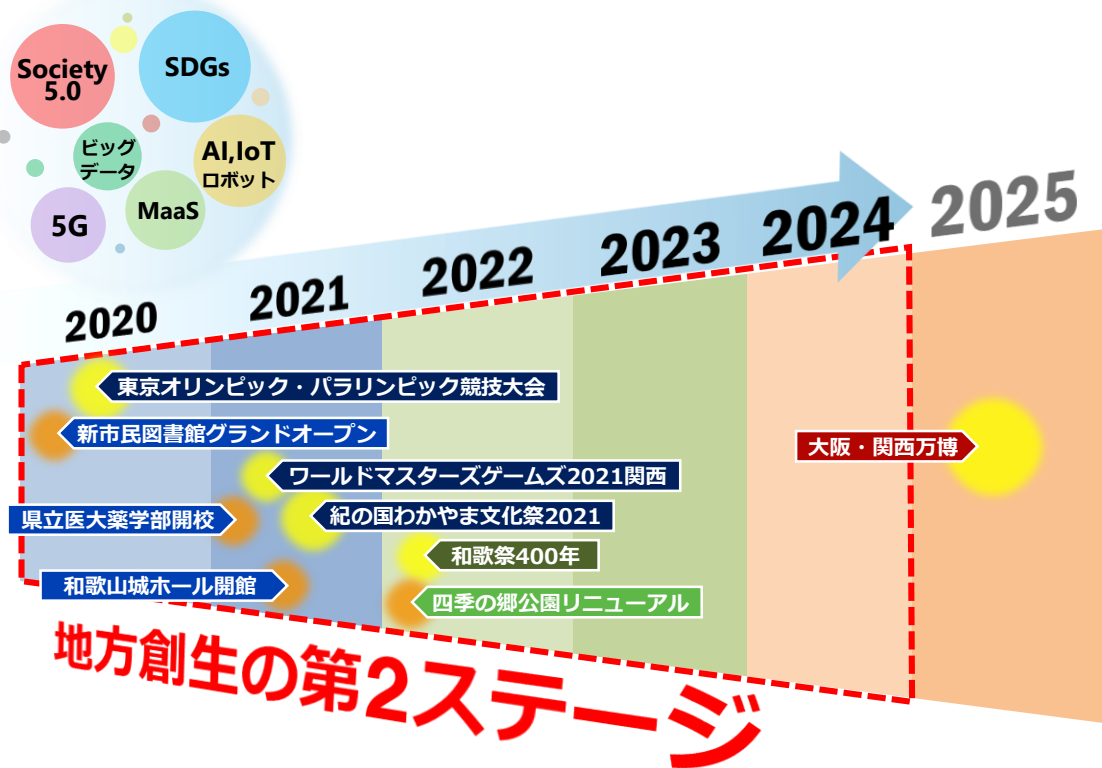
令和2年度予算のポイント

● 5年間の第2期総合戦略スタートの年

● 市民ニーズを的確に捉える

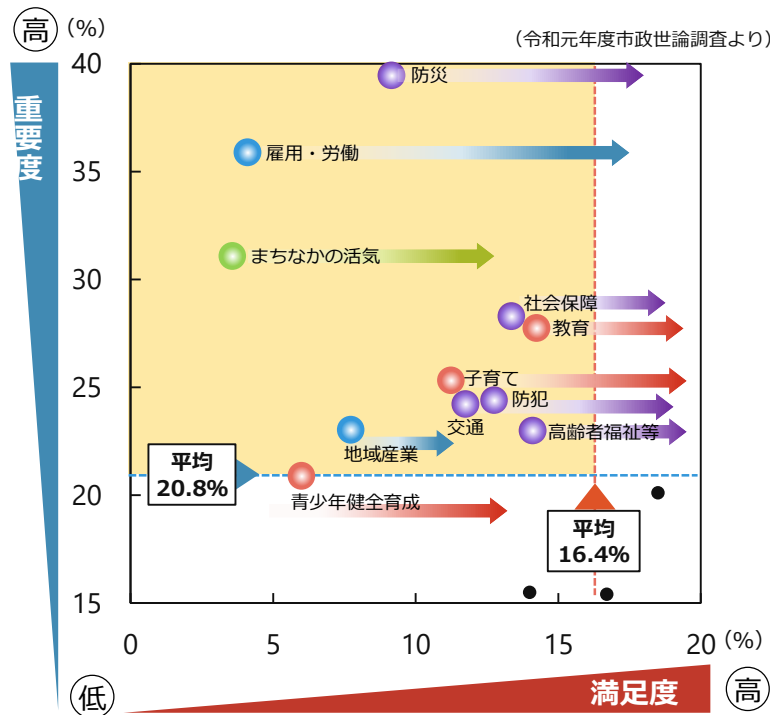
持続可能で未来に希望の持てるまちの実現に向け、
教育や子育て環境、防災など「ひとへの投資」、観光振興、雇用・労働など「しごとへの投資」を重点化

新しい時代の流れを推進力に成長を加速



市民ニーズの高い分野の施策を重点推進

本市の取組に対する市民の満足度と重要度のギャップ



令和2年度予算は、「地方創生に向けて**弾みをつける**予算」

01

安定した雇用を生み出す 産業が元気なまち

① 地域産業の活性化

- 暮らしを支える地域産業の生産性向上
- 産業を牽引し、支える人材の確保・育成
- 強い農・水産業づくり
- 農・水産物の魅力発信拠点の整備
- 海外の活力を生かした国際戦略

② 観光の持続的な発展

- オリンピックイヤーの取組
- 観光客受入環境の整備
- 観光誘客の促進
- 産学官民連携による加太の魅力創造
- 日本遺産 和歌の浦の更なる魅力向上

暮らしを支える地域産業の生産性向上

AI・IoT・ロボット等、先端技術の活用を促進することで、市内企業の生産性向上を図るとともに、地域に根付いた産業や製品の競争力を高め、市内産業の成長につなげます。

先端技術の活用に対する支援

- **先端技術を活用した創業を支援** 商工振興課
 <継続> 2,000千円
- **ビジネスチャンスの創出を支援** 商工振興課
 <拡充> 6,400千円 【内示資料No.1】
 ・先端技術を活用した自社製品の開発に対する補助を追加
 ・和歌山市チャレンジ新商品認定事業者に対する補助金額を引き上げ
- **生産性向上のためのIT・IoT等の導入を支援** 産業政策課
 <拡充> 3,000千円 【内示資料No.2】

様々な方面から先端技術の活用を支援

創業

開発

導入



企業の立地や設備投資の促進

産業政策課

- **先端設備の導入を促進** <継続>
- **企業立地促進奨励金制度** <継続> 147,927千円
- **企業立地アドバイザー** <継続> 600千円
 企業情報の収集体制強化、分析結果に基づく戦略的な誘致活動
 抽出優良企業へのアンケート調査とヒアリングの実施
 企業立地アドバイザー等のネットワークを活用した企業訪問

地場産業の振興

商工振興課

- **地場産業の振興を支援** <継続>
- **市産品の高付加価値化を推進** <継続>

産業を牽引し、支える人材の確保・育成

和歌山市内での就職・UIJターンの促進のため、合同企業説明会やインターンシップ等を通じた就職支援を行い、市内産業を牽引し、支える人材の確保・育成に努めます。

市内就職の促進

- **わかやま就職応援プロジェクト** 産業政策課
<継続> 8,620千円
 合同企業説明会やインターンシップ、企業見学バスツアー等を実施



合同企業説明会



インターンシップ



企業見学バスツアー

- **奨学金の返還を助成<継続>** 総務課
 市内にある医療、介護分野などの企業に専門的職種で就職した方の奨学金の返還を支援

民間人材の活用

政策調整課・人事課

- **特別顧問の設置・活用<継続>**
 まちづくりに関連する重要な施策において、民間人材による調査・助言等を活用

女性の活躍推進

- **女性の就職を支援<継続> 2,371千円** 産業政策課
 託児付きの合同企業説明会を実施



託児付き合同企業説明会

新たな人材の確保

企画課(R2)(政策調整課(R1))
産業政策課・商工振興課

- **東京圏からの移住の促進<継続> 18,200千円**
 東京23区に5年以上在住又は通勤した方が本市に移住して就業・起業する際の移住支援金を支給



農・水産業における担い手不足解消のための施策を講じ、担い手の育成確保を図るとともに、農・水産物の産地化を推進するための支援を行い、ブランド化に向けた付加価値の向上を図ることで、強い農・水産業づくりを目指します。

農・水産業の担い手を支援

農林水産課

● 遊休農地の解消を支援
〈継続〉 700千円

農地を借りて遊休農地を解消し、農業経営を行う方に補助金を交付

稼げる農・水産業の推進

農林水産課

● 野菜等の産地化を推進
〈継続〉 1,800千円

打ち抜き井戸の設置補助により、水田の裏作等による野菜等の生産拡大を推進

● 市民農園の開設等を支援
〈継続〉 1,000千円



● 片男波産アサリの復活
〈継続〉 3,000千円



● 漁業の担い手の育成
〈新規〉 10,062千円 [内示資料No.3]

漁村での生活体験、基礎技術習得を目的としたトライアル研修や、就業に必要な知識及び技能を習得するための実践研修を実施

● ブルーツーリズムの推進
〈新規〉 1,000千円 [内示資料No.4]

加太のマダイ・マダコのブランド的価値を高め、販売額の増加はもとより、加太の活性化につなげるためのプレスツアーを実施

農・水産物の魅力発信拠点の整備

リニューアルされる四季の郷公園に和歌山市初となる道の駅がオープンします。また、中央卸売市場の再整備を進め、農・水産物の魅力を発信し、地産地消や魚食の普及につなげます。

● 四季の郷公園のリニューアル<継続> 農林水産課



四季の郷公園整備イメージ

◆ 令和2年7月 味覚ゾーンがオープン

農産物直売所、レストラン、24時間対応の駐車場・トイレ等、道の駅の機能を集約。秋には体験農園もオープン予定

● 四季さい館 (新ネイチャーセンター) の改修

<新規> 125,642千円 2月補正

● 道の駅・味覚ゾーンのオープンイベント

<新規> 2,315千円 【内示資料No.5】

● 中央卸売市場の再整備<継続> 中央卸売市場



中央卸売市場整備イメージ

◆ 令和2年7月 (予定) 総合食品センター棟がオープン

一般の方も食事・買い物 (乾物等) が可能に

南用地を活用した道の駅

- ・市場と連携し、全国の新鮮な食品や地域の特産品等を販売
- ・サイクリングロードのゲートウェイにも



姉妹都市・友好都市をはじめとした諸外国との交流・連携を強化し、そこで培った信頼関係を基に、本市の農水産物や製品の海外販路開拓につなげます。

国際交流の推進



● 姉妹都市・友好都市との交流・連携の強化

＜継続＞ 10,253千円 国際交流課

姉妹・友好都市との文化・教育の交流を通じて産業振興の連携へ

● 台湾との交流の推進＜継続＞ 3,975千円 国際交流課

読書活動推進課

● 台南市との図書館交流＜新規＞ 1,185千円 【内示資料No.6】

本市の新市民図書館及び新台南市立図書館の開館を契機に、相互の文化の理解を深め、本と体験等を通じた交流を行う

販路拡大へ展開

● 姉妹都市・友好都市等での物産・観光PR

＜継続＞ 3,112千円 国際交流課



紀州庵（台北市）での和歌山ラーメンPR



リッチモンド市における商談

● 中央卸売市場内事業者の海外販路開拓を支援

＜継続＞ 1,144千円 中央卸売市場



オリンピックイヤーの取組

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、和歌山市を訪れた方々へのおもてなしを強化するとともに、これを契機と捉え広くスポーツイベントや文化芸術を国内外に発信します。

オリンピック関連イベントの開催

スポーツ振興課

スポーツ振興課

● **オリンピック聖火リレー**
 <新規> 8,448千円 [内示資料No.10]

● **オリンピック・パラリンピック選手の
 事前合宿をサポート** <拡充> 8,108千円 [内示資料No.12]




4/10(金)
 和歌山
 マリーナシティ
 スタート
 ゴール



7/11~7/19 秋葉山プール
 カナダ競泳オリンピックチーム

8/9~8/20 秋葉山プール
 カナダ競泳パラリンピックチーム

7/17~8/7 紀三井寺陸上競技場
 オーストラリア陸上オリンピックチーム

など



和歌山駅前
 ゴール

スタート
 和歌山城

4/11(土)
 スタート地点となる
 和歌山城で出発式を実施

大規模イベントを通じた発信

オリンピック・パラリンピックを契機に広く発信し
 国内外からの誘客へつなげる

● **「みんなの想火」プロジェクト**
 <新規> 2,000千円 [内示資料No.11] 観光課

全国47都道府県で行われる竹あかりイベントの
 本市での開催を支援



- ・第20回 和歌山ジャズマラソンの開催
 - ・紀の国わかやま文化祭2021プレイベント
 「(仮称)友ヶ島芸術祭」の開催
 - ・和歌山市の文化財を活かした歴史体感プログラム <継続> 2,066千円
 紀州藩に仕えた人々の装束や大名行列を、歴史書に基づき再現
- など

クルーズ船の寄港等による、インバウンドを含んだ観光客の増加に合わせ、満足度向上に向けた受入環境を整備するとともに、より効果的な観光施策のための分析を行います。

おもてなしの充実

観光課

観光課



- **クルーズ船の誘致<拡充> 11,794千円** 【内示資料No.7】
クルーズ船寄港時のおもてなしを行うことで、更なる誘致につなげる



©MSCクルーズ

令和2年10月18日～19日
17万トン級大型クルーズ船
「MSCベリッシマ」が初入港予定

- **多言語版和歌山ラーメンマップの作成<拡充> 1,512千円** 【内示資料No.8】
外国人観光客向けの英語・簡体字・繁体字版のラーメンマップを作成

- **タクシーのマナー向上の取組<継続>** 交通政策課
JR和歌山駅と南海和歌山市駅に入構できるタクシーを優良タクシーに限定する取組を推進

効果的な観光施策に向けた分析

- **ビッグデータを活用した観光客動態調査** 観光課
<新規> 6,050千円 【内示資料No.9】
位置情報取得について承諾した携帯電話ユーザーを対象として、個人を特定することなく観光客の発着地、滞在時間、周遊実態等进行分析

本市が保有する観光資源等の魅力を、観光大使や観光発信人を通じて発信します。また、関西国際空港からレンタカー利用者呼び込むなど、ターゲットを明確にした情報発信により誘客促進につなげます。



HYDE氏の「ふるさと観光大使」就任

就任に伴うツイートが大反響！
「#なんて素敵な和歌山なんでしょう」

- 観光大使、観光発信人による情報発信 <継続>
- ふるさと観光大使就任記念ギャラリーの拡充
<拡充> 660千円 【内示資料No.14】

和歌山市ふるさと観光大使であるHYDE氏ゆかりの品を購入し、ギャラリーの拡充を図る

観光誘客に向けた魅力の発信

観光課

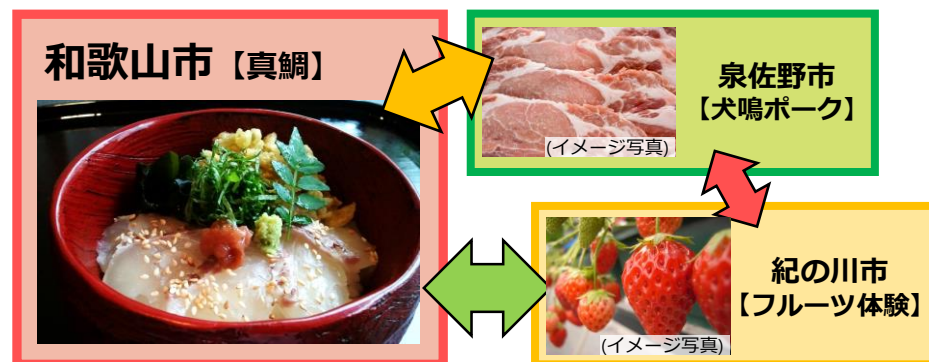
- 地域の魅力発信 <新規> 2,500千円 【内示資料No.15】

和歌山城、加太、和歌の浦等の観光商品について、地域が一体となってプロモーションを行い、更なる観光振興を図る

- 多言語観光WEBサイト
「my secret Wakayama」の充実
<拡充> 4,623千円 【内示資料No.16】

周辺他市と連携し、外国人観光客等のレンタカーによる誘客を図るためのページを追加

レンタカー利用者向けのモデルルート（一例）



多言語観光サイト等で相互に情報発信

地元住民や民間企業、大学等との連携により、加太地域の魅力向上とブランディングを目指します。
また、観光客が安全・安心・快適に楽しめるような受入環境の整備を進めます。

多方面との連携による魅力向上

- **加太リノベーションまちづくり** 都市再生課
 <継続> 5,804千円 企画課(R2)
(政策調整課(R1))
- **東京大学加太分室との連携** <継続> 10,000千円 都市再生課
- **地域おこし協力隊による空き家を活用した
移住・起業支援** <拡充> 7,042千円 【内示資料No.17】
- **友ヶ島におけるARを活用した誘客** 観光課
 <継続> 5,000千円



エイベックス・エンタテインメント株式会社と共同開発した
音声ARアプリ「友ヶ島」を使用した展示

文化芸術の拠点としての取組

- **紀の国わかやま文化祭2021イベント
「(仮称)友ヶ島芸術祭」の開催** <新規> 10,000千円 【内示資料No.13】 文化振興課
 友ヶ島の歴史と自然から想起されるような仕掛けを
アート作品で表し、魅力を国内外に広く発信
- **堀米ゆず子氏によるマスタークラスの開催等を通じた「芸術村」の取組を推進** <拡充> 600千円 文化振興課
 小学校での演奏会など地域における国際的ハイレベルな文化芸術活動を推進
- **コスプレイベント等への支援** <新規> 観光課

観光客受入環境の整備

- **加太船着場公衆トイレの建替** 観光課
 <新規> 7,000千円 【内示資料No.18】
 観光客の利用するトイレの快適性・機能性を向上させ、混雑を緩和
- **友ヶ島砲台跡の整備** <継続> 15,000千円 観光課
 今年度整備の第3砲台跡に続き、観光客が安全・安心に見学できる
よう**現在閉鎖中の第4砲台跡の整備**を行い、友ヶ島の更なる魅力向上につなげる

日本遺産 和歌の浦の更なる魅力向上

日本遺産に認定された「絶景の宝庫 和歌の浦」を舞台に、国内外の方々を万葉の世界へと誘うため、魅力を更に向上させるための取組を進めます。

和歌の浦の魅力向上

- 日本遺産の国内外への魅力発信〈継続〉 観光課

- 和歌祭400年に向けた取組〈継続〉 9,999千円 観光課

- ガイダンス施設の整備〈継続〉 104,700千円 都市再生課

歴史と万葉の拠点となるよう整備を進める

- 明光通りのトータルプロデュース 都市再生課

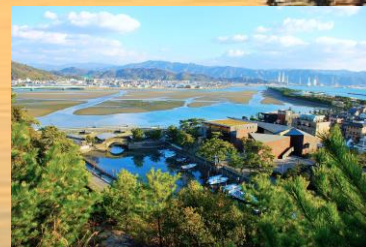
〈継続〉 4,248千円

- 道路の美装化・無電柱化の促進 道路建設課

道路管理課

〈継続〉 177,600千円

- 観光遊歩道の整備〈継続〉 観光課



今もなお万葉の薫りを残す
奠供山からの眺望

わか
の浦に
潮満ちくれば
鴻をなみ
葦辺をさして
鶴鳴きわたる
山部赤人

聖武天皇の時代から、万葉歌人をして、和歌の聖地として多くの人々を魅了し、文化芸術を育んできた悠久の歴史を今に伝える

02

住みたいと選ばれる 魅力があふれるまち

① 歩きたくなるまちなか創生

- 歩きたくなる都市空間、回遊性の創出
- 交流拠点の整備によるまちなか再生
- 魅力輝く和歌山城へ
- まちなかの魅力向上

② 個性を生かし愛着を育む地域づくり

- 活力を生み出す個性豊かな地域づくり
- 移住・定住の推進
- 文化芸術の発信
- スポーツの推進

歩きたくなる都市空間、回遊性の創出

各市営駐車場をフリンジ駐車場とするための機能強化を実施するとともに、魅力ある都市空間を形成することで、回遊性の向上を図ります。

フリンジ駐車場の機能強化

まちなみ景観課

●(仮称)市営北駐車場の整備<継続> 986,188千円

今後予想される利用者増加に対応するため、約200台が収容可能な駐車場を整備



本町地下駐車場→
令和2年4月
リニューアルオープン

駐車場1階に店舗を併設
まちなか賑わいの創出に貢献



まちなみ景観課

●城北公園地下駐車場の整備<新規> 10,010千円

フリンジ駐車場とするための機能強化として、エレベーター設備の更新工事を実施

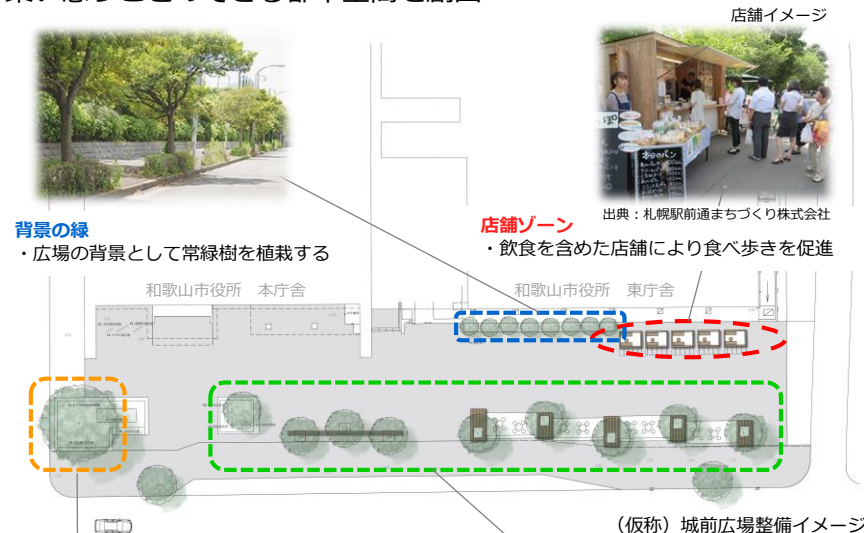
【内示資料No.19】

まち歩き拠点の整備

管財課

●(仮称)城前広場の整備<新規> 149,939千円

紀陽銀行中央ビル移転後の敷地と市役所南側広場に
【内示資料No.20】
集い憩うことのできる都市空間を創出



背景の緑
・広場の背景として常緑樹を植栽する

店舗ゾーン
・飲食を含めた店舗により食べ歩きを促進
出典：札幌駅前通まちづくり株式会社

(仮称) 城前広場整備イメージ



記憶のまちかど
・市役所のシンボルとしてクスノキを保存する



こもれびの広場
・広場に緑の屋根をかけ、かつ、城への眺望の額縁になるよう意図する
・夏には木陰を、冬に暖かい光がふりそそぐ落葉樹とする
・広場における様々な活用を考慮して、疎密をつけた自然配植とする

交流拠点の整備によるまちなか再生

人が集まり、交流し、新たな活動へと発展するコミュニティ形成の場等として、新たな拠点を整備することでまちなか活性化を促進します。

交流拠点整備

読書活動推進課・都市再生課

●新市民図書館、市駅前再開発ビル グランドオープン<継続>

道路建設課

●和歌山市駅前広場及び周辺道路の整備 <継続> 306,944千円

●新たな整備の検討<継続> 3,500千円

都市再生課

- ・南海和歌山市駅前
- ・JR和歌山駅
- ・県庁前交差点周辺

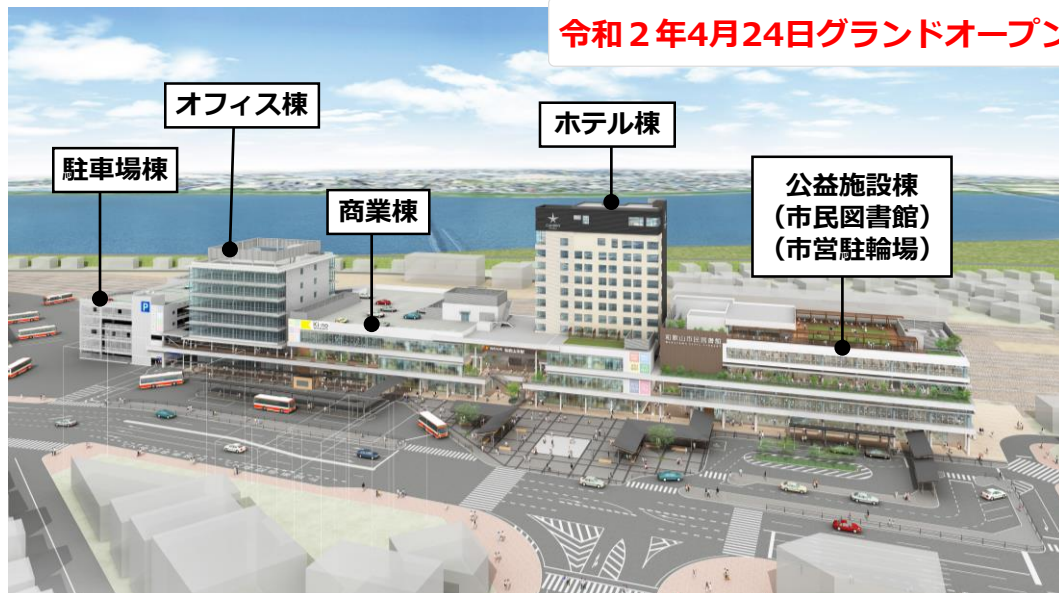
現況(市駅前)



現況(JR和歌山駅前)



令和2年4月24日グランドオープン



●和歌山城ホールの整備<継続> 5,184,738千円

文化振興課

令和3年秋開館予定



紀州徳川家の居城であった和歌山城のさらなる魅力向上のため、動物園のリニューアルをはじめとした取組を行います。また、天守閣の木造復元的整備を目指しつつ、来城者の安全確保のため、耐震改修を検討します。

●天守閣の整備検討<継続>

和歌山城整備企画課

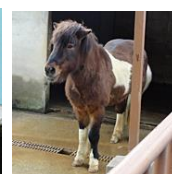


新たな魅力の創出

和歌山城整備企画課

●和歌山城公園動物園のリニューアル

<新規> 8,000千円 【内示資料No.21】



●和歌山城におけるARを活用した誘客

観光課

<新規> 5,000千円 【内示資料No.22】

和歌山城整備企画課

●扇の芝の整備<継続>

庶民の憩いの場となっていた扇の芝の史跡指定範囲を拡張し用地取得を推進



扇の芝整備イメージ

快適に周遊できる環境の整備

和歌山城整備企画課

●和歌山城公園園路の整備<新規> 8,000千円

劣化した舗装の打ち換えや石畳の修繕・整備により安全面及び景観面を改善

【内示資料No.23】

官民連携等によるまちづくりを実施することで、エリアの価値向上を図り、まちなかの魅力を向上させます。

●まちなかイロドリ<継続> 3,171千円 商工振興課

空き店舗を活用し、試行的に出店する場を設けることで、将来まちなかで店舗を構えることにつながり、まちなかでの雇用と産業の創出を図る



●企業版リノベーションスクールの開催 都市再生課
<継続> 8,467千円

遊休不動産の再生を目指し、更なる事業化を促進するため、令和2年度は、個人向けから市内中小企業や家守会社を対象としたスクールを開催

都市再生課・まちなみ景観課(R2)
(政策調整課(R1))

●水辺を生かしたまちづくり<継続> 4,500千円

中橋を中心に市堀川のライトアップや、イベント等を実施することでまちなかの賑わいと回遊性の向上につなげる



●京橋親水公園の整備<新規> 45,343千円 公園緑地課 【内示資料No.24】

和歌山城とぶらくり丁との動線を描くため、京橋駐車場として利用されている区域を親水公園として整備

●京橋親水公園前(城北56号線)歩道整備 道路管理課
<新規> 30,000千円 【内示資料No.24】



●京橋プロムナードガス灯整備 道路管理課
<新規> 5,000千円 【内示資料No.25】



●空き家をシェアハウスとして活用し、空家対策課
和大生等の学生のまちなか居住を促進<新規>

各地域の特性を生かした住民主体のまちづくり活動への支援等を通じ、個性と魅力あふれる地域づくりや拠点整備を進めるとともに、AIやビッグデータ等を活用したスーパーシティ構想を推進します。

地域の魅力向上

都市再生課

- 明光通りのトータルプロデュース
＜継続＞（再掲）

ファーマーズマーケットの開催等を目指す



- 道路の美装化・無電柱化の促進
＜継続＞（再掲）

道路建設課・道路管理課

- 加太リノベーションまちづくり
＜継続＞（再掲）

都市再生課



- 地域のまちづくり支援
＜継続＞ 2,970千円

都市再生課

ワークショップの開催等を通じ、まちづくり活動団体の掘り起こしや育成など、地域の特色を生かした住民主体のまちづくりを支援



- 民間のまちづくり活動の促進
＜継続＞ 3,000千円

都市再生課

賑わい創出、美化活動、防災まちづくり活動等、各団体が行うまちづくりの取組を支援



施設の整備等

交通政策課(R2)
(政策調整課(R1))

- サイクリング拠点の整備＜新規＞ 3,795千円

太平洋岸自転車道の終点地である加太港に、モニュメントを製作・設置

【内示資料No.26】



(イメージ)

公園緑地課

- 砂山・今福地区のまちづくり
＜継続＞ 4,048千円

人権同和施策課・子育て支援課・文化振興課・観光課

- (仮称) 平井複合施設の整備＜継続＞ 447,072千円

平井文化会館及び平井児童館に、平井遺跡や雑賀衆に関する歴史資料室を備えた複合施設の建設工事



Society5.0の推進

- スーパーシティ構想の推進＜新規＞

企画課

AIやビッグデータ等を活用し、未来生活を先行実現するスーパーシティ構想を推進

拡大しつつある地方への移住ニーズを的確にとらえ、実際の人の動きにつなげるため、魅力向上と発信力を高めるとともに、ワーケーション誘致等を通じた関係人口の創出・拡大を図ります。

地域の魅力向上・発信

企画課(R2)
(政策調整課(R1))

● 東京大学加太分室との連携<継続> (再掲)



企画課(R2)
(政策調整課(R1))

● 移住フェア等への出展<継続> 623千円

移住希望者の様々な相談を一括して受け付けるワンストップパーソンを中心に、各種移住フェア等に参加し、本市の魅力や補助制度の紹介や希望に沿った場所の提案等を実施



移住相談会 (@東京)

● SNS、動画共有サービス等を通じた魅力発信 <継続> 11,955千円

広報広聴課

本市への誘客・移住・定住に寄与する番組を制作し、インターネットでも視聴してもらうことで市内外に広く魅力発信

移住・定住の支援

企画課(R2)
(政策調整課(R1))
産業政策課・商工振興課

● 東京圏からの移住の促進<継続> (再掲)

東京23区に5年以上在住又は通勤した方が本市に移住して就業・起業する際の移住支援金を支給

子育て支援課

● 三世同居・近居の促進<継続> 4,000千円

転入・転居により、三世代で新たに同居又は近居するための住居取得等の費用の一部を助成



● ワーケーションの導入促進<継続>

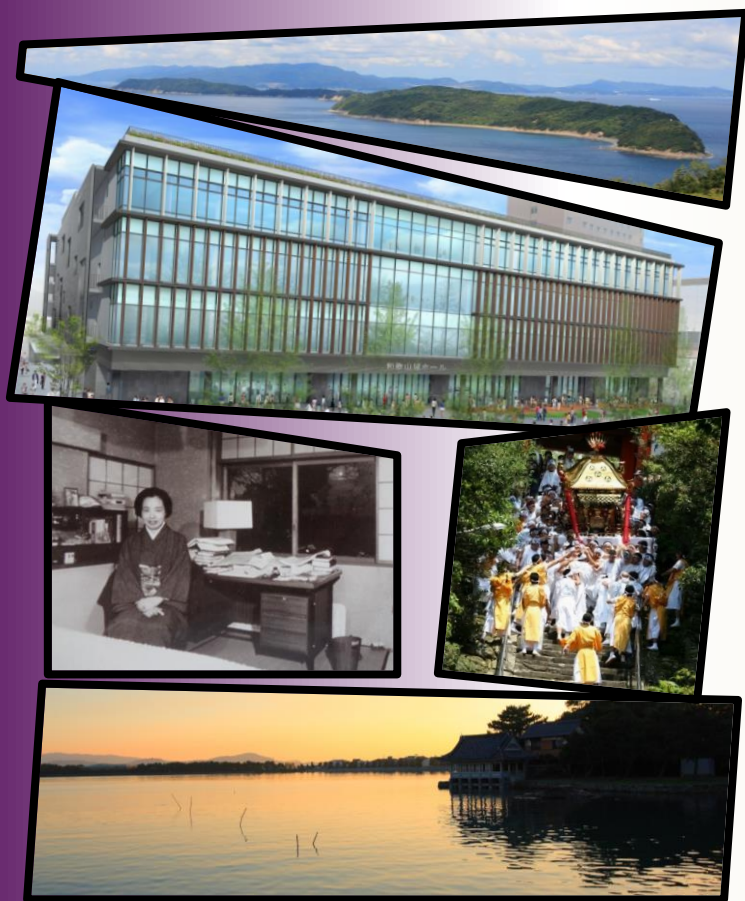
地域の特性を生かしたワーケーションの誘致により、関係人口を拡大

企画課(R2)
(政策調整課(R1))
産業政策課



(東京圏の企業によるワーケーショントライアル)

先人たちから受け継がれてきた歴史・文化芸術を更に発展させ、未来へ引き継ぐとともに、多様な文化芸術に触れ親しみ、新たな文化芸術の創造に取り組む機会を創出します。



2019

・文化芸術基本条例制定

2020

・文化芸術推進基本計画策定
・(仮称)友ヶ島芸術祭

2021

・有吉佐和子邸の復元
・和歌山城ホールの開館
・紀の国わかやま文化祭2021

2022

・和歌祭400年

文化振興課

- **紀の国わかやま文化祭2021の準備・プレイベントの開催**
＜新規＞ 12,858千円（一部再掲）

2021年の本番に向けて準備を進めるとともに、「(仮称)友ヶ島芸術祭」を開催

文化振興課

- **有吉佐和子邸の復元＜継続＞**

文化振興課

- **和歌山城ホールの整備**
＜継続＞（再掲）

市民の文化芸術活動を発信する場、賑わいの文化交流拠点として整備

- **和歌祭400年に向けた取組** 観光課
＜継続＞（再掲）

和歌山市文化芸術基本条例
令和元年7月24日施行

文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、令和2年度、**文化芸術推進基本計画**を策定

第20回を迎え、名称を新たにした「和歌山ジャズマラソン」を中心に、市民のスポーツへの参加を推進します。また、様々な世代の方がスポーツを通じて交流できるような拠点の整備を進めます。

スポーツの祭典

- **第20回 和歌山ジャズマラソンの開催** スポーツ振興課
＜拡充＞ 21,262千円 【内示資料No.27】

令和2年11月8日開催
第20回大会から名称を「和歌山ジャズマラソン」に変更



ハーフマラソンの
スタート地点を和歌山城周辺に



スポーツを通じた交流拠点の整備



つつじが丘総合公園整備イメージ

- **つつじが丘総合公園の整備** スポーツ振興課
＜継続＞ 1,308,227千円 2月補正

多世代がスポーツを通じて交流できる施設として整備を進める

交通政策課(R2)
(政策調整課(R1))

- **サイクリング拠点の整備＜新規＞ (再掲)**

太平洋岸自転車道の終点地である加太港に、
モニュメントを製作・設置

03

子供たちが いきいきと育つまち

① 子供を産み育てやすい環境づくり

- 安心子育てサポート体制の充実
- 児童虐待防止対策・社会的養育の推進
- ひとり親家庭等援助を必要とする子供への支援の強化

② 夢に向かって未来を切り拓ける教育

- 知・徳・体の調和のとれた教育の推進
- 子供の学びをサポートする体制の構築
- 安全・安心・快適な教育環境づくり

次代を担う子供たちの健やかな成長を支えるため、母子ともに結婚から妊娠、出産、そして子育て期までの切れ目のない支援を行い、子育て世代の負担をしっかりと軽減します。



結婚から子育て期までの切れ目のない支援

● 結婚新生活の支援<継続> 5,400千円

子育て支援課

経済的理由で結婚に踏み出せない方のため、結婚を機に新たに取得・賃貸する住宅費用、引越し代等を支援（所得制限等条件あり）

● 産後ケア（宿泊型）<継続> 1,419千円

地域保健課

産後2か月未満の母親と乳児等を対象に、産科医療機関でショートステイ（宿泊）型の母子ケアや授乳指導・育児相談等を実施

● 妊娠期から子育て期の総合相談窓口

地域保健課

子育て世代包括支援センターの運営<継続> 15,461千円

各保健センター内にて、妊娠中・出産後の身体の不調や育児不安など様々な相談への対応（助産師、保健師等）、母子健康手帳交付等を実施

● 乳幼児健康診査<継続> 30,212千円

地域保健課

乳児（4か月児・10か月児）、1歳6か月児、2歳6か月児（歯科）、3歳児に健康診査を行い、健全な育成を図るための支援を実施

● 妊産婦健康診査の充実<継続> 268,686千円

地域保健課

妊娠中の健康を管理し、産後うつや新生児虐待等を予防

特別な支援が必要な児童の健やかな育ち

● 私立保育所等への障害児の受け入れ促進<拡充> 39,888千円

保育こども園課

特別な支援が必要な児童が年々増加していることから、より一層、保育環境の充実と受け入れ促進を図るため、私立保育所等に対する加配保育士の補助割合を引き上げ

【内示資料No.28】



児童虐待防止対策・社会的養育の推進

地域の子供とその家族に寄り添い、専門的に相談対応する拠点として誕生した「子ども家庭総合支援拠点」を核とした機能強化を図り、育児負担の軽減等を通じて、虐待の未然防止・早期発見につなげます。

和歌山市の児童支援体制

子育て世代包括支援センター



子ども総合支援センター
「和歌山市子ども家庭総合支援拠点」

機能強化

市民に最も身近な相談機関

切れ目のない寄り添い型の支援

要保護児童対策調整機関

関係機関と情報共有し、
個別ケースの対応方法を協議



R2.1月オープン

役割分担



緊密連携

児童相談所

(和歌山県 子ども・女性・障害者相談センター)

虐待の未然防止・早期対応

子ども総合支援センター

● 子ども総合支援センターの強化<新規> 2,021千円

【内示資料No.29】

- ・前向き子育てプログラムの充実<拡充>
ファシリテーター養成等により、健やかな親子関係を構築
- ・就学前児童等の啓発プログラム
子供が「思いやり、いたわり」の心を育み、自分や他者を大切にするための啓発プログラムを実施
- ・年齢別養育パンフレットの配布
- ・家庭訪問型子育て支援
継続的な関わりを必要とする家庭が、必要な支援を受け入れやすくするため、家庭訪問等を通じて育児用品を配布
- ・民生委員等との連携
- ・和歌山信愛大学との連携による支援技術の研究

● 里親宅へのショートステイ<新規> 658千円

保護者の育児疲れや疾病等で、子供の一時的な預りが必要な時に、里親家庭で預かり育児負担を軽減

【内示資料No.30】



低

リスクの程度

高

ひとり親家庭等 援助を必要とする子供への支援の強化

ひとり親家庭等において、貧困の連鎖を防止する観点から、教育をはじめ、生活支援、保護者の就労支援、経済的支援等の包括的な支援により、子供の生活の向上を図ります。

経済的負担の軽減

学校教育課

●就学援助の充実<拡充> 176,537千円 【内示資料No.31】

令和2年度国基準単価まで拡充

こども家庭課

●こども医療費の助成<継続> 1,161,433千円

中学校卒業までの子供の受けた保険診療の医療費等にかかる自己負担分と、入院時食事療養費半額を助成（所得制限あり）

こども家庭課

●ひとり親家庭等医療費助成<継続> 402,976千円

児童が18歳になった年の年度末まで、その児童と扶養している母又は父等が受けた保険診療の医療費等にかかる自己負担分と、入院時食事療養費半額を助成（所得制限あり）

多子世帯の支援

こども家庭課(R2)
(子育て支援課(R1))

●在宅子育て支援<継続> 56,283千円

多子世帯の経済的負担軽減のため、在宅育児に15,000円/月を給付

対象 第3子以降の0歳児
第2子の0歳児 ※所得制限あり



●育児支援の助成<継続> 900千円

子育て支援課

小学生以下の子供を3人以上養育している家庭の負担軽減のため、就学前の子供に係る対象事業の利用料（自己負担分）を助成（上限あり）

学習支援

生活支援第2課(R2)
(生活支援課(R1))

●子どもの学習・生活支援<新規> 2,968千円

生活困窮世帯等の中学生を対象にした学習支援により、【内示資料No.32】学びの習慣づけを行い、貧困の連鎖を防止



子育て支援課

●子供食堂のネットワークづくり<継続>

子供食堂の開催状況等の情報発信、運営に必要な資源（食材・物資等）等について、情報交換する場の提供や公共施設利用料を減免

自立支援

●ひとり親家庭の親の就業・自立支援

こども家庭課

<継続> 37,001千円

ひとり親家庭の親の資格取得や就職・自立を促進

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

国際化、情報化が急激に進む社会に対応し、強く生きるための力を育むための教育を推し進めます。また、体力の向上、読書の推進などを通じて、知・徳・体の調和のとれた児童・生徒を育成します。

国際化・情報化社会で生きる力を育む教育

学校教育課

●英語教育の推進<拡充> 43,847千円 【内示資料No.33】

外国語指導助手（ALT）を2名増員

●情報教育研修の充実<継続> 1,071千円 教育研究所

ICTを活用した授業づくり、プログラミング学習の研修を充実

●学校ICT環境設備の整備<新規> 1,507,397千円

文部科学省の「GIGAスクール構想」に基づき、全ての学校の普通教室に高速かつ大容量の無線LANを整備

2月補正

教育研究所



児童生徒の学力向上

●基礎学習の充実<継続>

学校教育課

授業前、授業後等の15分程度で基礎学習カリキュラムを実施

●放課後フォローアップ<継続> 4,312千円

学校教育課

放課後に教員と指導員が連携して補充学習を実施

読書の推進

読書活動推進課

●学校図書館の充実<拡充> 6,587千円 【内示資料No.34】

公立学校現場の学校司書を1名から3名に増員し、小中学生の読書を推進

児童生徒の体力向上

学校教育課

●パワーアップチャレンジ手帳の活用<継続>

児童生徒が自分の体力に関心を持ち、運動習慣の定着を促進

子供の学びをサポートする体制の構築

教員の能力向上や、専門的な知識を持った人材の配置により、教育環境における子供の学びをサポートします。また、地域や家庭との連携を強化することで、より綿密な体制で子供の成長を支えます。

教育・支援体制の充実

教育研究所

● 教員の授業力向上をサポート〈継続〉 450千円

客員指導主事を派遣し、課題の解決や授業力の向上をサポート

● 中学校における学び合いの授業づくり 〈継続〉 360千円

教育研究所

主体的、対話的で深い学びの実現を目指した授業改善を実施

教職員課

● 特別非常勤講師の派遣〈拡充〉 730千円 【内示資料No.35】

専門的な知識や技術、豊かな経験を持つ講師を招き、教育効果を高める

● 生徒指導補助員の配置〈継続〉 36,103千円

教職員課

問題行動への緊急対応や、支援が必要な児童生徒の補助を行う

青少年課

● 若竹学級の充実〈拡充〉 13,221千円 【内示資料No.36】

入級希望児童を受け入れられるよう、4教室の増設を行う

学校教育課

● 特別支援教育支援の充実〈継続〉 142,442千円

地域・家庭との連携を強化

学校教育課

● コミュニティ・スクールの推進〈継続〉 736千円



ゲストティーチャー
(田植え)



ふれあい花いっぱい運動

登下校の見守り

教育研究所

● 地域先達との協働・連携〈継続〉 545千円

地域の人が学校にいる環境をつくり、心身ともに豊かな育成を図る

● 家庭教育の支援〈継続〉 804千円

生涯学習課・学校教育課

- ・家庭教育支援サポーターの養成
- ・親になるための学びの体験として中学校等で「赤ちゃんふれあいプロジェクト(赤ちゃん教室)」を実施

安全・安心・快適な教育環境づくり

老朽化した教育施設・設備の更新を進め、安全・安心で快適な教育環境の整備を進めます。また、関係各所との連携を強化しながら、登下校時の安全を確保し、子供たちを守ることができるよう対策を講じます。

安心・快適な環境の整備

教育施設課

●小中学校のプールの整備<継続> 27,258千円

耐震性と浄水機能を有するプールへの改築に向け、老朽化した既存プールの解体を実施

災害時の生活用水としても活用



通学路の安全を確保

保健給食管理課・道路政策課
道路管理課・地域安全課

●通学路の合同点検を実施<継続>

継続的な通学路の安全確保のため、対策が必要な箇所について、学校、保護者、自治会、道路管理者、警察、教育委員会などの関係者が合同で点検を行う



●市立和歌山高等学校のトイレを洋式化

<新規> 61,862千円 【内示資料No.37】

市立和歌山高等学校

避難所としても位置付けられている市立和歌山高等学校のトイレを整備



洋式化率

15.3%

49.9%

市内県立高校洋式化率
平均：39.5%

●通学路等の歩道を整備<継続>

道路建設課



04

誰もが安心して住み続けられる 持続可能なまち

① 市民の安心・安全の確保

- 水道施設の整備
- 治水・内水対策の推進
- 防災・減災対策の強化

② 豊かで暮らしやすい地域づくり

- 市民生活を支える道路網の整備
- 便利で持続可能な地域公共交通ネットワークの実現
- 豊かで安全な暮らしを支える住環境の整備

③ 誰もが元気に生涯活躍できるまち

- 誰もが安心して元気に暮らせる環境づくり
- 高齢者の生活安心サポート
- 健康寿命の更なる延伸

安心・安全で安定した水の供給を行うため、老朽化した配水管や浄水場等の更新、耐震化等の整備や防災対策に取り組みます。

老朽インフラの点検と更新

水道企画課
管路整備課

● 配水管の整備<拡充> 2,326,723千円 【内示資料No.38】

老朽化した配水管の更新、耐震化等を行うことにより、配水管網の整備、安定給水の確保、防災対策の強化等を図る（前年度当初予算より15%増）



水道企画課

● 加納浄水場の設備更新<継続> 13,100千円

急速ろ過池等の更新により老朽化した加納浄水場の施設を整備し、安全で安定した水道水の供給を図る



加納浄水場

防災対策の推進

上・工業用水道管理課

● 配水池の防災対策<新規> 32,616千円 【内示資料No.39】

配水池に自家発電及び緊急遮断設備を設置し、停電時でも安定給水を図り、また大地震時は市民の生活用水を確保する



秋葉山配水池

上・工業用水道管理課

● 高台給水施設の防災対策<新規> 13,860千円 【内示資料No.40】

ポンプ所に自家発電設備を設置し、停電時でも安定給水を図る



ふじと台北ポンプ所

市民の生活を守るため、河川改修等の治水・内水対策を実施するとともに、継続して紀の川の治水安全度向上が図られるよう、国に要望します。

治水対策

● 国土強靱化緊急対策への 紀の川の治水・内水対策促進に 向けた取組を強化<継続>

新六箇井堰一部撤去、粘り強い構造の堤防整備の早期完成、
「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」の
期間延伸等について、国へ働きかけ



令和元年10月31日 紀の川大堰に関する和歌山市議会議員連盟
とともに国土交通大臣へ要望

● 準用河川改修事業<継続> 464,764千円 河川港湾課

永山川、平尾川の流下能力不足により浸水被害が発生しており、
河道改修及びバイパス河川整備を行い治水安全度向上を図る

● 普通河川事業<継続> 49,579千円 河川港湾課

河川改修及び適切な維持管理により浸水被害の軽減を図る

内水対策

下水道施設課

● 雨水ポンプ場の整備<継続> 1,394,269千円

各所での浸水対策のため、雨水ポンプ場を整備

・新堀雨水ポンプ場 ・松江雨水ポンプ場 ほか



令和2年1月1日から運用を開始している和田川雨水地下貯留施設

● 公共下水（雨水）整備の推進 下水道建設課 <継続> 561,937千円

市街化区域の時間雨量50ミリに対応した有功地区等の
浸水対策を推進



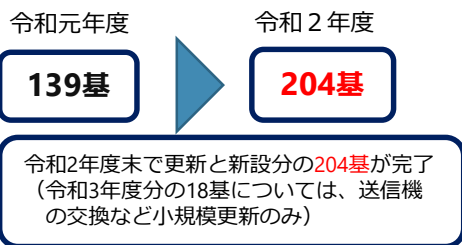
防災・減災対策の強化を図るため、消防活動センターの整備等を進めるとともに、防災行政無線の再整備を進めることで、可聴範囲を拡大し、避難情報の提供を図ります。

命を守る避難の促進

総合防災課

● 防災行政無線の再整備 <継続> 491,411千円

防災行政無線は可聴範囲拡大に向け、子局の新設及び更新中



● 避難所の機能強化 <新規> (再掲)

避難所として位置付けられている市立和歌山高等学校のトイレ整備を実施

市立和歌山高等学校

● 河川洪水時の一時避難場所の検討 <継続>

総合防災課

災害発生時の体制強化

消防総務課
生涯学習課

● 和歌山市消防活動センター及び
東部コミュニティセンターの駐車場整備
<継続> 1,338,940千円

大規模災害時、全国の消防本部からの応援を受け入れる拠点施設を和歌山南スマートIC近くに整備



● 消防車両の更新 <継続> 189,496千円

警防課

複雑多様化する各種災害に対応するため、水槽付き消防ポンプ自動車(Ⅱ型)、災害用広報車等の更新を実施



地域の安全・安心・便利な生活を支えるための道路整備等を進めるとともに、交流人口・物流の拡大、自動運転化への観点から、国、県に対して京奈和自動車道の延伸を要望し、自動車専用道路等の和歌山高速環状道路の実現に向けて取り組みます。

2月補正：20,000千円
当初：678,496千円

●都市計画道路の整備

<継続> 698,496千円

今福神前線はじめ継続3路線を整備

道路政策課・道路建設課
街路建設課・用地課

2月補正：28,000千円
当初：503,168千円

●生活道路・通学路の整備

<継続> 531,168千円

黒谷黒岩線はじめ新規4路線及び
継続13路線を整備

道路政策課・道路建設課
道路管理課・用地課

●道路の適正管理

<継続> 1,234,163千円

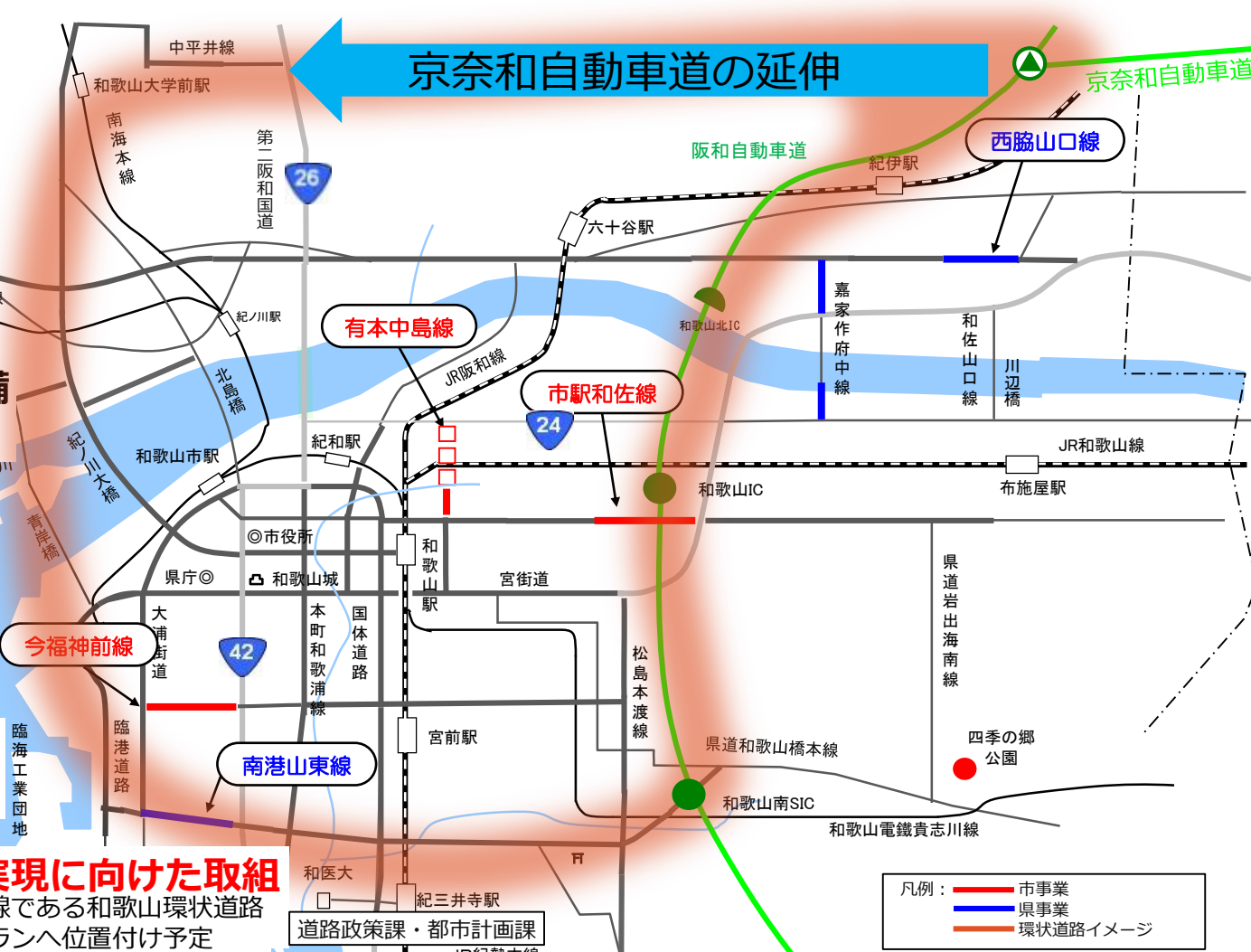
- ・橋梁の長寿命化・耐震化対策
- ・トンネル等の道路施設の点検及び
老朽化対策

道路建設課
道路管理課

●和歌山高速環状道路の実現に向けた取組

<新規> 地域高規格道路候補路線である和歌山環状道路
を都市計画マスタープランへ位置付け予定

道路政策課・都市計画課



凡例：	市事業
	県事業
	環状道路イメージ

地域公共交通網形成計画に基づき、すべての人にとって安心、安全に利用できる持続可能な公共交通ネットワークの構築を目指します。

交通不便の解消

交通政策課

●加太地区デマンド型乗合タクシーの運行

＜継続＞ 608千円

利用啓発により地域での定着を図りながら、更なる利用者ニーズ等実情に応じた柔軟な運行方式を検討

●地域バスの導入に向けた検討＜継続＞ 23,587千円

路線の廃止など交通網が行き届いていない地域に新たな交通手段を検討



●JR紀三井寺駅へのエレベーター等設置による バリアフリー化を支援＜継続＞ 89,154千円



新たな交通手段の検討

交通政策課(R2)
(政策調整課(R1))

●シェアサイクル導入の検討＜継続＞

マイカーから
「公共交通プラス自転車」への転換

4つの目的

①公共交通の
利便性向上

市民の日常生活に…

②中心市街地の
回遊性向上

市街地でのビジネスに…

④環境・景観形成

放置自転車の解消に…
CO2削減に…

③観光振興

点在する名所巡りに…



交通政策課

●新交通システム等導入可能性調査＜継続＞

ネットワークの形成状況を踏まえ、次世代の交通サービスであるMaaS等の検討を行う

住宅等の耐震化率を向上させるため、補助制度や周知を徹底することで、住宅に関する安全対策を図ります。また、不良空家の除却に対する補助制度を拡充することで、空家等対策を推進します。

住宅等耐震化強化

住宅政策課

●未耐震化住宅への全戸・戸別訪問<継続>

●耐震改修等補助<継続> 106,297千円

- ・耐震改修及び同時に行うリフォーム補助（耐震改修：最大116.6万円）
（リフォーム：最大10万円）
- ・現地建替補助（最大126.6万円）
- ・転居に伴う除却補助（最大20万円）
- ・耐震ベッド・シェルター補助（最大36.6万円）

●耐震改修等補助の周知徹底<継続>

●ブロック塀の除却等補助<継続> 42,900千円

- ・撤去費等への補助（最大40万円）



空家等対策の推進

空家対策課

●空き家の発生抑制に向けた啓発の実施<継続>

●空き家の地域交流拠点化を推進 <継続> 3,000千円

●老朽化した空き家の除却促進<拡充> 30,000千円

【内示資料No.41】
(前年度当初予算より25%増)



●特定空家等への取組を強化<継続>

- ・平成30年2月から令和2年1月末まで特定空家等認定18件の内是正12件
- ・令和2年度は特定空家等の是正に向けた粘り強い交渉や更なる認定に向け取組を進める

●空き家をシェアハウスとして活用し、和大学生等の学生のまちなか居住を促進<新規> (再掲)

誰もが安心して元気に暮らせる環境づくり

障害のある方の自立と社会参加に向け、手話施策の推進や働く場の確保・開拓などを進めるとともに、多くの方が利用する公共的施設のバリアフリー化を推進するなど、安心、安全で元気に暮らせる環境を整備します。

自立・社会参加に向けた支援

障害者支援課

障害者支援課

- 手話通訳者、要約筆記者の派遣・養成
＜継続＞ 6,314千円

- 手話施策の推進＜継続＞ 8,202千円



スポーツ振興課・道路管理課・生涯学習課

- 障害者用駐車スペースへのシェルター設置
＜一部新規＞

- ・ 市民体育館及び市民温水プール＜新規＞ 4,699千円
【内示資料No.42】

- ・ JR和歌山駅前西口広場＜新規＞ 2,220千円
【内示資料No.43】



- ・ 東部コミュニティセンター駐車場整備＜継続＞（再掲）

- JR紀三井寺駅へのエレベーター等設置による
バリアフリー化を支援＜継続＞（再掲）

交通政策課

- UDタクシーの導入促進＜継続＞ 100千円

交通政策課

タクシー事業者へのユニバーサルデザインタクシーの購入補助により、誰もが安心、安全で快適に利用できる交通環境の整備を推進

- 障害者の働く場の確保・開拓＜継続＞ 1,623千円

職場開拓推進員による企業訪問や相談支援に加え、協力事業所でのインターンシップの推進や助成金の交付を通じ、一般就労の推進と定着化を図る



- 重度心身障害児者医療費助成の充実

＜継続＞ 871,217千円

保健対策課・障害者支援課

精神障害者保健福祉手帳1級所持者の方を新たに助成の対象者に加え（R1.8.1～適用）充実を図る

安心社会の構築

人権同和施策課

- 和歌山市犯罪被害者等支援条例の制定＜新規＞

条例を制定し、相談窓口の設置や見舞金の支給等により、犯罪被害者等の被害の回復及び軽減を図る

保健対策課

- 骨髄バンクへの登録促進＜新規＞ 350千円

骨髄又は末梢血幹細胞の提供者に奨励金（1万円/日）を交付し、ドナー登録者数・提供者数の増加を図る（上限7日分）

【内示資料No.44】



保健対策課

- 自殺未遂者への支援＜新規＞ 2,640千円

【内示資料No.45】

自殺未遂者の再企図を防ぐため、保健所が個別支援を行い、医療や福祉の関係機関等とネットワークを構築して「生きる支援」を推進

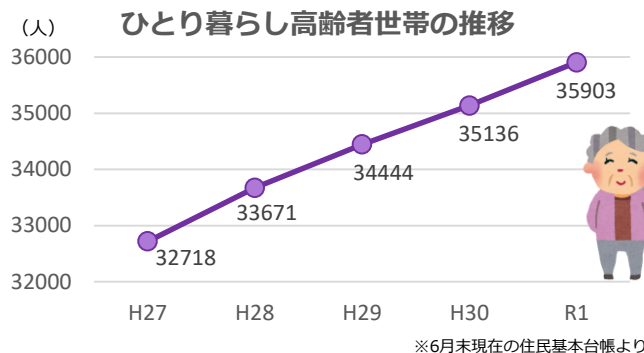
ひとり暮らし高齢者の方が増加していることから、高齢者等の消費者被害防止対策を強化するとともに、支え合いの地域づくりや医療・介護の連携など、住み慣れた地域で自分らしい暮らしが送れるよう取組を進めます。

ひとり暮らし高齢者等の安心確保



認知症予防

閉じこもり予防



高齢者・地域福祉課

●緊急通報システム<継続> 29,281千円

急病やケガなど家の中で助けが必要な時に、ペンダントのボタンで通報するシステム。緊急時における不安感解消、安心した生活を確保



市民生活課（消費生活センター）

●高齢者等の消費者被害防止対策の強化<新規>

消費生活センターを中心とした関係者が連携して見守り活動を行う「消費者安全確保地域協議会（見守りネットワーク）」を設置し、特殊詐欺等の消費者被害防止につなげる

支え合いの地域づくり

地域包括支援課

●地域の支え合いづくりの推進<継続> 45,611千円

多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制を構築

高齢者・地域福祉課

●我が事・丸ごとの地域づくりの推進<継続> 27,924千円

地域の生活課題の解決を図るため、地域住民と支援機関が互いに協力して包括的な支援体制を持つ地域づくりを目指す

医療・介護の連携

総務企画課・地域包括支援課

●在宅医療・介護の連携推進<継続> 37,606千円

医療機関と介護事業所等の関係機関の連携を推進し、切れ目のない支援体制の充実を図る

地域包括支援課

●認知症の総合的支援<継続> 7,337千円

早期診断等に向けた支援体制を構築するとともに、認知症地域支援推進員による医療・介護等の連携強化を推進



人生100年時代を見据え、住み慣れた地域で、健康で自立した生活が送れるよう、AIの活用等新たな手法の導入やインセンティブの強化による予防・健康づくりを推進し、健康寿命の更なる延伸を図ります。

生きがい活動の促進

地域包括支援課・国保年金課

● 5つの健康・予防プログラム<継続> 20,459千円

目的、体力等に応じて選べる5つのプログラムを提供し、自主的な運動の習慣化等を図る

WAKAYAMAつれもて健康体操

わかやまシニアエクササイズ

自主活動移行教室

介護施設でのボランティア活動

国保運動教室



疾病の予防

● AIを活用した特定健診の受診率向上

国保年金課

<新規> 11,673千円 【内示資料No.46】

人工知能技術(AI)を用いて最も効果的な対象者を選定し、対象者の特性に合わせた受診勧奨を実施するとともに、特定健診受診者に対し、図書カード(1,000円)を抽選でプレゼント

地域保健課

● 新手法導入による大腸がん検診の受診率向上

<新規> 6,555千円 【内示資料No.47】

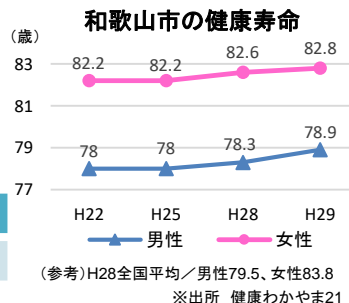
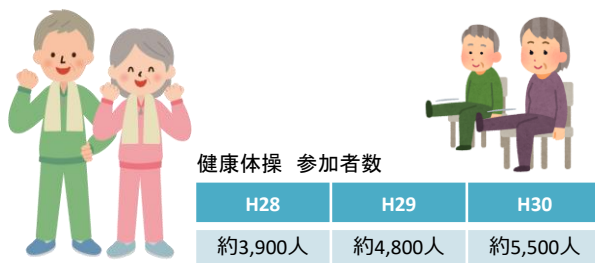
検診未受診者のうち、受診歴や問診項目等のデータをAIを用いて対象者の絞り込みを行い、ナッジ理論(※)等を活用した効果的な受診勧奨を実施することで、受診率向上を図る

【※ナッジ理論】
「ナッジ(nudge)」は、直訳で「ひじで軽く突く」という意味。行動経済学において、人々が強制によってではなく自発的に望ましい行動を選択するよう促す仕掛けや手法を示す用語として用いられている

大腸がん検診受診率の比較【69歳未満】

和歌山市	県下最下位	10.4%	(39.6%)
県平均		27.0%	(58.5%)
全国平均		24.3%	(70.6%)

<H29地域保健・健康増進事業報告推計ベース>
□()内は75歳未満の精検受診率<H28>



● 健康づくりの推進<継続> 469千円

地域保健課

健康ウォーキングイベントや講習会等により健康づくりを支援

地域保健課・自治振興課

● 自治会等による自主的な健康づくり<継続>

県の「みんなで実践!健康づくり運動ポイント事業」を利用し、自治会活動や運動習慣の定着化を図る

地域保健課

● 肺がん集団検診の無料化<新規> 3,035千円

【内示資料No.48】

オプトアウト方式による効果的な受診勧奨を行うとともに、肺がんの集団検診を無料にすることで、受診率向上を図る

令和2年度予算の概要

○ 一般会計予算

150,314,303 千円

増減率	増減額
(△4.1%)	(△6,373,927千円)
△4.1%	△6,368,727千円

○ 特別会計予算

98,962,593 千円

増減率	増減額
+1.3%	1,259,823千円

○ 公営企業会計予算

40,024,936 千円

増減率	増減額
(△0.5%)	(△190,032千円)
△2.7%	△1,125,432千円

○ 予算合計

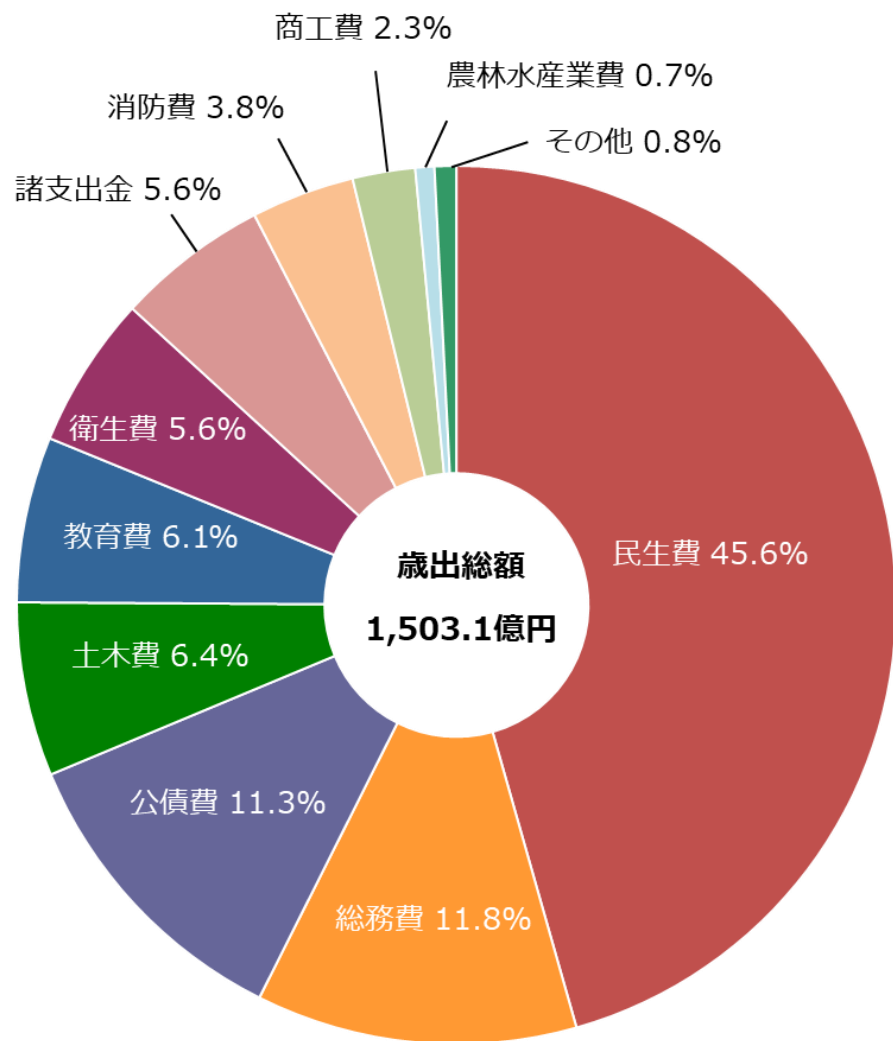
289,301,832 千円

増減率	増減額
(△1.8%)	(△5,304,136千円)
△2.1%	△6,234,336千円

() 内は、借換えの対象となった元金償還金を除いた額です。

一般会計歳出の状況（目的別）①

（１）款別予算額の構成比



- 民生費の割合は 45.6% (43.9%)
- 総務費の割合は 11.8% (10.6%)
- 公債費の割合は 11.3% (10.6%)
- 土木費の割合は 6.4% (10.0%)
- 教育費の割合は 6.1% (6.6%)

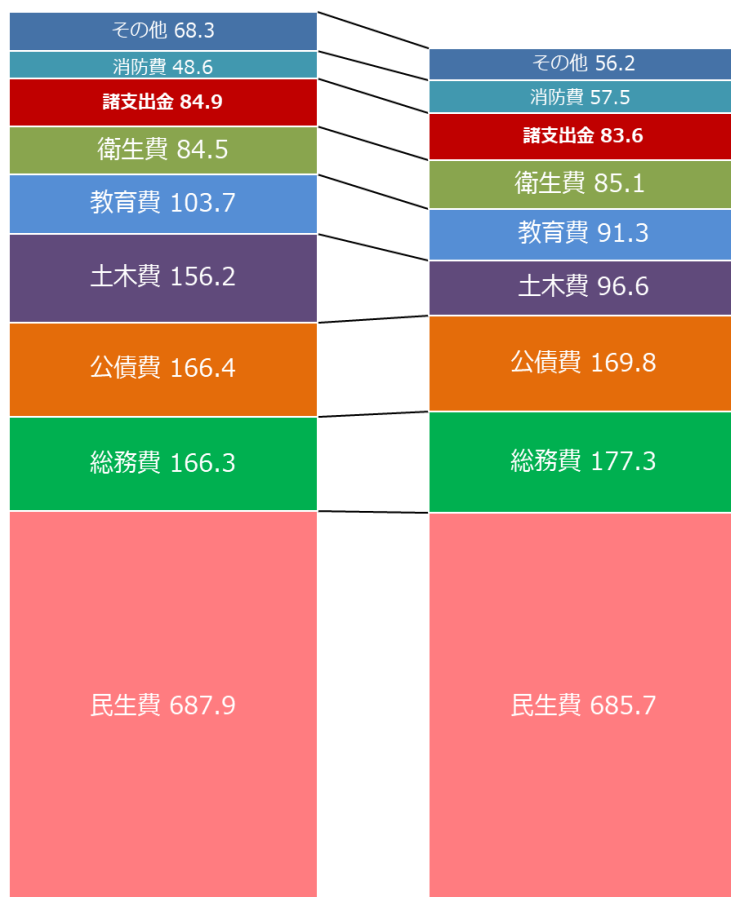
- ◎ 割合が増加
民生費・総務費・公債費など
- ◎ 割合が減少
土木費・教育費など

一般会計歳出の状況（目的別）②

（2）款別予算額の年度間増減

前年比△63.7億円
(△4.1%)

令和元年度	令和2年度
1,566.8億円	1,503.1億円



増

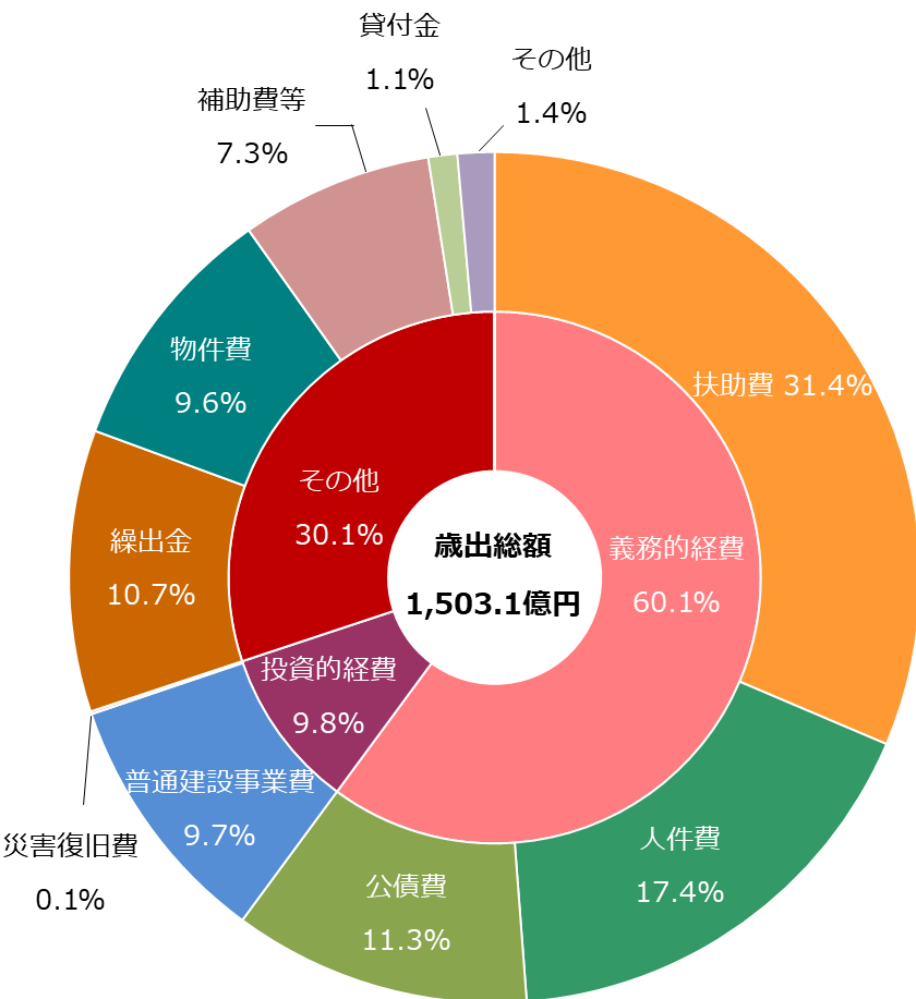
- ◆総務費 +11.0億円 (+6.6%)
 - ・和歌山城ホール整備事業 +26.9億円
- ◆衛生費 +0.6億円 (+0.6%)
 - ・予防接種事業 +1.0億円
- ◆消防費 +8.9億円 (+18.5%)
 - ・消防活動センター整備事業 +11.4億円
- ◆公債費 +3.4億円 (+2.0%)
 - ・元金償還金 +5.1億円

減

- ◆民生費 △2.2億円 (△0.3%)
 - ・児童扶養手当 △6.2億円
 - ・市立認定こども園整備事業 △14.7億円
- ◆土木費 △59.6億円 (△38.1%)
 - ・市街地再開発事業 △45.7億円
 - ・岡崎団地建替事業 △5.2億円
 - ・街路事業特別会計繰出金 △4.4億円
- ◆教育費 △12.4億円 (△12.0%)
 - ・新市民図書館整備・開館準備 △18.1億円

一般会計歳出の状況（性質別）①

（１）性質別予算額の構成比



（ % ）は前年度の割合

- 義務的経費の割合 **60.1%**
(56.7%)
- 投資的経費の割合 **9.8%**
(13.7%)
- その他の割合 **30.1%**
(29.6%)

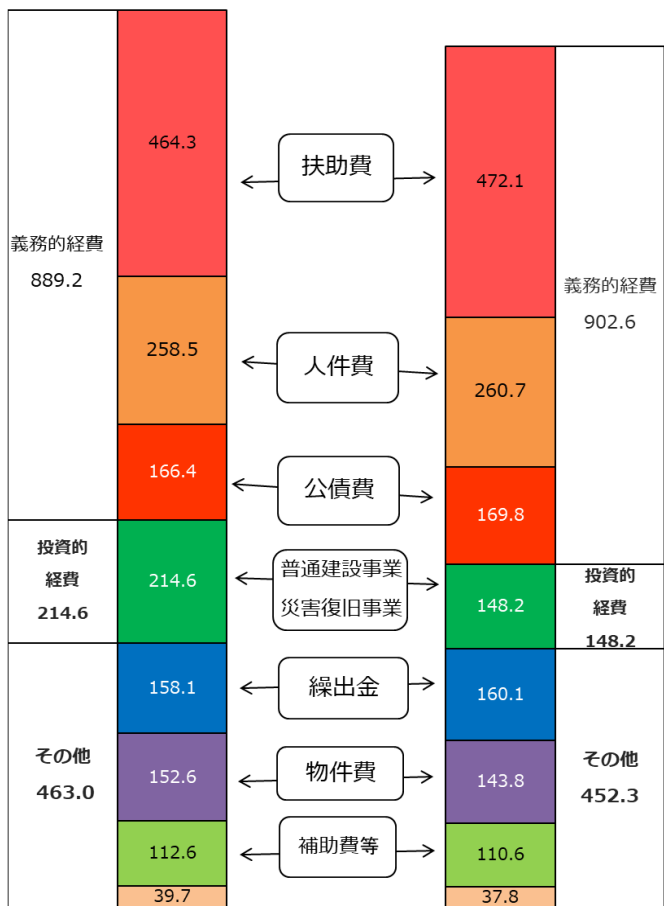
- ◎ 割合が増加
扶助費・繰出金など
- ◎ 割合が減少
普通建設事業費・災害復旧費など

一般会計歳出の状況（性質別）②

（2）性質別予算額の年度間増減

前年比△63.7億円
（△4.1%）

令和元年度	令和2年度
1,566.8億円	1,503.1億円



- ◆義務的経費 +13.4億円 (+1.5%)
 - ・扶助費 +7.8億円 (+1.7%)
 - 障害者福祉サービス等給付費 +5.8億円
 - 施設型給付事業 +4.5億円
 - ・人件費 +2.2億円 (+0.8%)
 - 会計年度任用職員制度等による増 +3.3億円
 - ・公債費 +3.4億円 (+2.0%)
 - 元金償還金 +5.1億円

◆投資的経費 △66.4億円 (△30.9%)

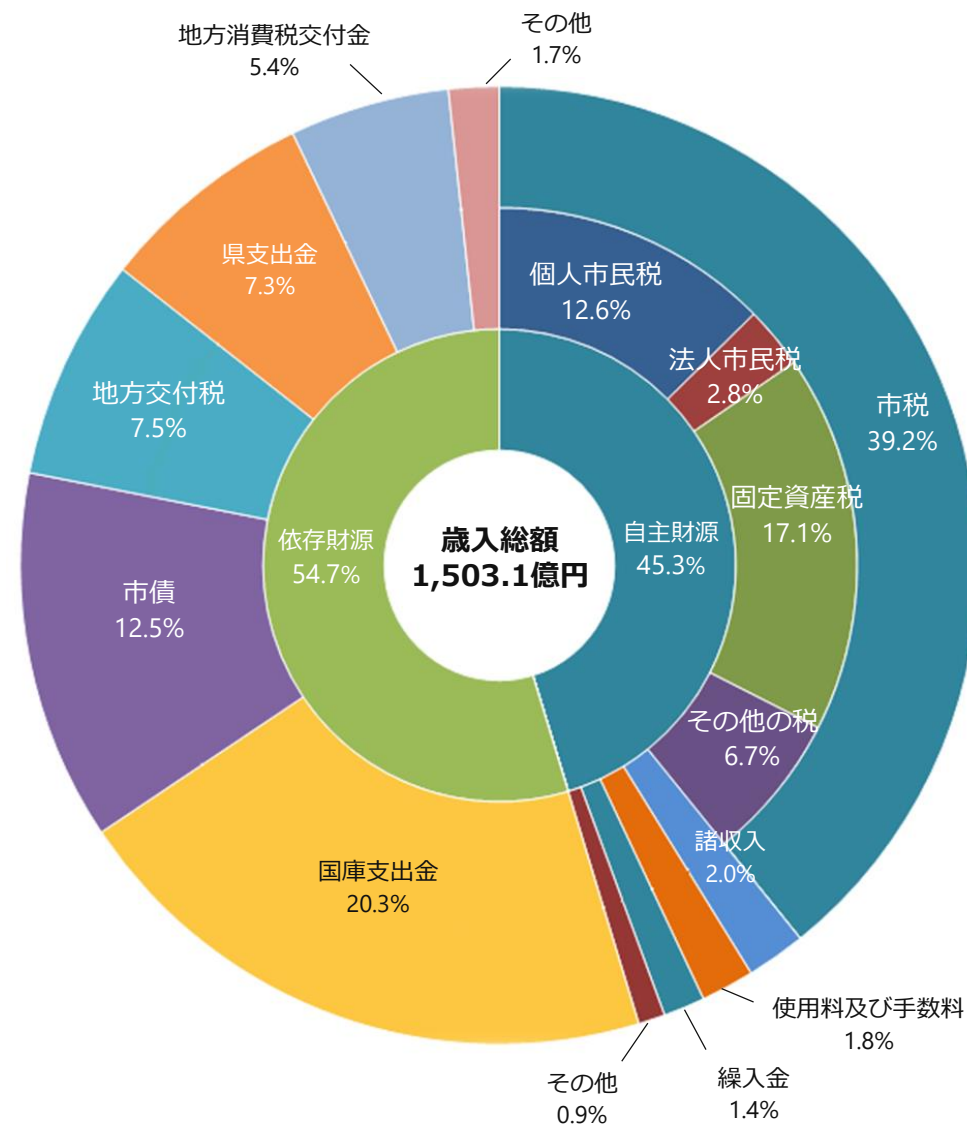
- ・市街地再開発事業 △45.7億円
- ・新市民図書館整備事業 △15.3億円
- ・市立認定こども園整備事業 △14.3億円
- ・和歌山城ホール整備事業 +26.9億円
- ・消防活動センター整備事業 +11.4億円
- ・東部コミュニティーセンター駐車場整備事業 +2.0億円

◆その他 △10.7億円 (△2.3%)

- ・物件費 △8.9億円 (△5.8%)
 - 会計年度任用職員制度による賃金等の減 △4.0億円
- ・補助費等 △2.0億円 (△1.8%)
 - ねんりんピック事業 △0.7億円
- ・繰出金 +2.0億円 (+1.3%)
 - 介護保険事業 +4.2億円
 - 後期高齢者医療 +1.8億円
 - 街路事業 △4.4億円

一般会計歳入の状況①

(1) 自主財源と依存財源の割合



(%) は前年度の割合

○ **自主財源 681.4億円**
構成比 45.3% (45.2%)

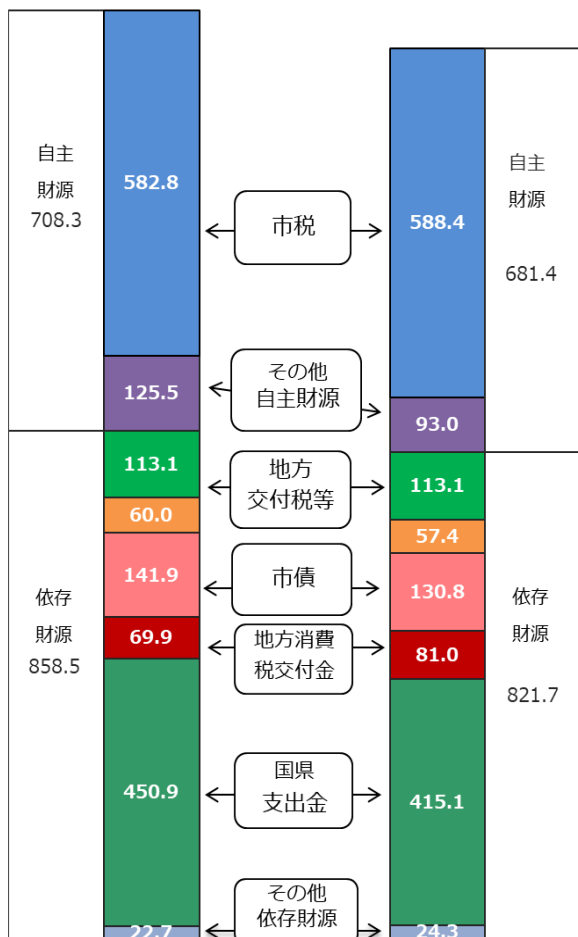
○ **依存財源 821.7億円**
構成比 54.7% (54.8%)

一般会計歳入の状況②

(2) 年度間増減

令和元年度
1,566.8億円

令和2年度
1,503.1億円



自主財源 $\Delta 26.9$ 億円 ($\Delta 3.8\%$)

- 市税 $+5.6$ 億円 ($+1.0\%$)
 - ・個人市民税(所得割)及び固定資産税(償却資産)の増等
- その他(繰入金等) $\Delta 32.5$ 億円 ($\Delta 25.9\%$)
 - ・財政調整基金繰入金 $\Delta 33.3$ 億円

依存財源 $\Delta 36.8$ 億円 ($\Delta 4.3\%$)

- 地方交付税 $\Delta 2.6$ 億円 ($\Delta 1.5\%$)
 - (臨時財政対策債を含む)
- 市債 $\Delta 11.1$ 億円 ($\Delta 7.8\%$)
 - ・建設事業債の減(災害復旧含む) $\Delta 10.5$ 億円
- 国県支出金 $\Delta 35.8$ 億円 ($\Delta 7.9\%$)
 - ・市街地再開発事業 $\Delta 33.1$ 億円
 - ・認定こども園整備事業(公立、私立) $\Delta 5.7$ 億円
 - ・選挙費 $\Delta 2.0$ 億円
 - ・施設型給付費 $+7.0$ 億円
 - ・障害者総合支援費 $+4.3$ 億円